

評価研究に関する情報

解剖学講座では、以下の研究（評価研究）を実施しております。この研究は、本講座が医学部学生を対象とした解剖学教育の実施過程で得られた情報を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や研究対象者の個人情報を守られていることが確認され、本学学長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 医用画像・3Dプリンタを用いた新規学習プログラムの教育効果検証

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学医学部 解剖学講座 助教 中野 洋輔

《研究の目的》 本研究では、解剖学を履修する関西医科大学医学部2回生を対象として、①医学部学生自身が行う医用画像の三次元像再構築による人体の三次元構造の理解度向上効果を検証、②医用画像のハンドリングによる医用画像利用法の学習効果を検証、そして③医学部学生自身が行う3Dプリンタを用いた医用画像三次元再構築モデル出力による人体の三次元構造理解度向上を検証することを目的とし、解剖学教育の学習効果の向上を図ることを目的としています。

《研究期間》 研究許可日～2027年3月31日

《研究の方法》

●対象

2020年度から2026年度までの間に本学で肉眼解剖学（生体の構造と機能 P2b）を履修する医学部学生

●研究に用いる情報の種類

本研究では肉眼解剖学（生体の構造と機能 P2b）で実施する任意参加のアンケート調査、および肉眼解剖学の試験採点表から得られる情報から、個人を特定可能な情報を抹消したものを利用します。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での情報等の取扱い》

本研究で用いる情報は、個人の氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。また、この情報は研究責任者のみが取扱います。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に情報を用いることをご了解いただけない研究対象者、または保護者（研究対象者が未成年の場合）は、以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学医学部 臨床解剖教育研究センター 副センター長 中野洋輔
〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1 電話：072-804-2300（内線 2304）